

利 府 町 教 育 委 員 会  
事 務 事 業 点 検 ・ 評 価 報 告 書  
( 令 和 3 年 度 事 業 )

令 和 4 年 8 月

利 府 町 教 育 委 員 会



# — 目 次 —

I	点検・評価の概要	
1	目的	1
2	実施方法	
3	有識者の知見の活用	
II	教育委員会	3
1	教育長・教育委員	
2	令和3年度の教育委員会活動	
3	教育委員会の会議の開催状況	
III	教育基本方針・教育振興基本計画	
	利府町教育基本方針・利府町教育振興計画	5
IV	施策の全体体系	7
V	教育行政の点検・評価	8
VI	事業の点検・評価	
	基本方向1「学ぶ力と自立する力の育成」	10
	基本方向2「豊かな人間性や社会性、健やかな体の育成」	12
	基本方向3「教育的支援を要する子どもへの支援の充実」	14
	基本方向4「郷土を愛する心と社会に貢献する力の育成」	16
	基本方向5「命を守る力と共に支え合う心の育成」	18
	基本方向6「信頼され魅力ある教育環境づくり」	20
	基本方向7「学校・家庭・地域が協働で子どもを育てる環境づくり」	22
	基本方向8「生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進」	24
VII	有識者意見書	27



# I 点検・評価の概要

## 1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことにより、課題や取組の方向性を明らかにするとともに、効果的な教育行政の推進を図るものである。

また、この結果を議会に提出するとともに公表を行うことにより、町民に対する説明責任を果たし、町民に信頼される教育行政の推進を図るものである。

## 2 実施方法

- (1) 利府町教育基本方針に基づく前年度の具体的施策及び主要事業を対象として、年1回の点検及び評価を実施する。

\*評価方法：A・B・C・D・Eの5段階で評価

A：事業が順調に実施され、取組の成果が十分にある

B：事業が概ね順調に実施され、取組の成果がある程度ある

C：事業の実施がやや遅れており、取組の成果があまりない

D：事業の実施が遅れており、取組の成果がない

E：事業を実施できず、評価できない

- (2) 点検及び評価は、前年度の事業等の実施状況を報告するとともに、課題や今後の取組の方向性を示す。
- (3) 利府町教育委員会による点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた「報告書」を利府町議会へ提出する。また、「報告書」は公表を行う。

### 3 有識者の知見の活用

点検評価は、3名の有識者の意見を聴取した上で、利府町教育委員会において点検及び評価を実施し、報告書の作成を行う。

氏 名	任 期	役 職 等
鎌田 均	令和 3.4.1～令和 5.3.31	元利府中学校校長
酒井 隆志	令和 3.4.1～令和 5.3.31	行政区長会会長
伊藤 啓子	令和 3.4.1～令和 5.3.31	民生委員児童委員

#### \*根拠法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）

#### 第26条（一部省略）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 教育委員会

### 1 教育長・教育委員

職名	氏名	任期	備考
教育長	本明 陽一	令和 3.10. 1～令和 6. 9.30	平成 23.10. 1 から就任
教育長職務代行委員	石川 一美	令和元.10. 1～令和 5. 9.30	平成 24.10. 1 から就任
委員	村松 淳司	令和 2.10. 1～令和 6. 9.30	平成 28.10. 1 から就任
委員	高田 修	平成 31. 1. 1～令和 4.12.31	平成 28.12.16 から就任
委員	高橋百合子	平成 31. 4. 1～令和 5. 3.31	平成 31. 4. 1 から就任

### 2 令和3年度の教育委員会活動

項目	回数	活動内容
教育委員会の会議の開催	12回	定例会の開催
教育施設等訪問	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利府町文化交流センター（リフノス）視察 （令和3年4月21日）</li> <li>・羽黒前遺跡発掘現場視察 （令和3年9月29日）</li> </ul>

### 3 教育委員会の会議の開催状況

区分	期日	主な付議事件
定例会	令和3年4月21日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事案件（利府町スクールソーシャルワーカー、利府町文化芸術振興審議会委員、利府町スポーツ推進委員、利府町社会体育推進員、利府町公民館分館長、ほか2件）</li> <li>・利府町教育委員会組織規則を改正する規則 ほか3件</li> </ul>
定例会	令和3年5月26日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事案件（利府町青少年育成推進指導員、利府町教育委員会の点検評価に関する有識者、利府町学校給食運営審議会委員）</li> </ul>
定例会	令和3年6月25日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事案件 （利府町学校評議員、利府町公民館分館長）</li> <li>・令和4年度使用教科用図書の採択</li> </ul>

区 分	期 日	主 な 付 議 事 件
定例会	令和 3 年 7 月 28 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事案件 (利府町社会教育委員)</li> <li>・ 令和 4 年度使用教科用図書採択</li> </ul>
定例会	令和 3 年 8 月 18 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利府町教育委員会事務事業点検・評価報告書</li> <li>・ 令和 3 年度教育要覧「利府町の教育」</li> </ul>
定例会	令和 3 年 9 月 29 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事案件 (教育長、会計年度任用職員)</li> <li>・ 利府町図書館建設基金条例を廃止する条例 ほか 5 件</li> </ul>
定例会	令和 3 年 11 月 1 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利府町総合体育館管理規則の一部改正</li> <li>・ (仮) 第 2 期利府町教育振興基本計画策定について</li> </ul>
定例会	令和 3 年 11 月 24 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告事項 (指定管理者の指定、羽黒前発掘調査報告ほか)</li> </ul>
定例会	令和 3 年 12 月 22 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事案件 (利府町子ども読書活動推進計画策定委員会委員)</li> <li>・ 指定管理者の指定</li> </ul>
定例会	令和 4 年 1 月 19 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事案件 (会計年度任用職員)</li> <li>・ 報告事項 (令和 4 年利府町成人式 ほか)</li> </ul>
定例会	令和 4 年 2 月 10 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利府町小中学校管理職人事案</li> <li>・ 押印・署名の見直しに伴う関係規則の整理に関する規則の制定</li> <li>・ 利府町教育委員会公印規程の一部を改正する訓令</li> <li>・ 利府町教育委員会処務規定の一部を改正する訓令</li> </ul>
定例会	令和 4 年 3 月 30 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事案件 (教育委員会職員、会計年度任用職員)</li> <li>・ 利府町教育委員会会議規則の一部を改正する規則</li> <li>・ 利府町スポーツ基金条例の一部を改正する条例 (ほか 4 件)</li> <li>・ 令和 4 年度学校給食費及び年間学校給食回数</li> <li>・ 利府町指定有形文化財の指定 2 件</li> </ul>



### Ⅲ 教育基本方針・教育振興基本計画

#### 利府町教育基本方針

広く創造的な視野をもち、健康で豊かな心をもつ人間の育成と魅力あるふるさとづくりをめざして

- おもいやり、たくましさ、創造力を培う学校
- 生涯学習を支え、活力に満ちた地域社会
- 魅力ある地域文化の継承と創造

を重点に、町民の生涯にわたる学習の充実に努める。

#### 利府町教育振興基本計画

##### 1 目指す姿

本計画を着実に進めることにより、計画期間である10年間で次のような姿が実現していることを目指すものとします。

学校・家庭・地域社会が一体となって、生き生きと学び、心豊かで、確かな学力をもち創造性に富む子どもを育てています。

そして、町民が生きがいをもって個性と能力が発揮でき、新しい利府文化を育む地域社会が形成されています。

##### 2 計画の目標

**目標1** 夢や希望をもち、その実現に向けて自ら考え行動し、社会を生き抜く子どもを育む。

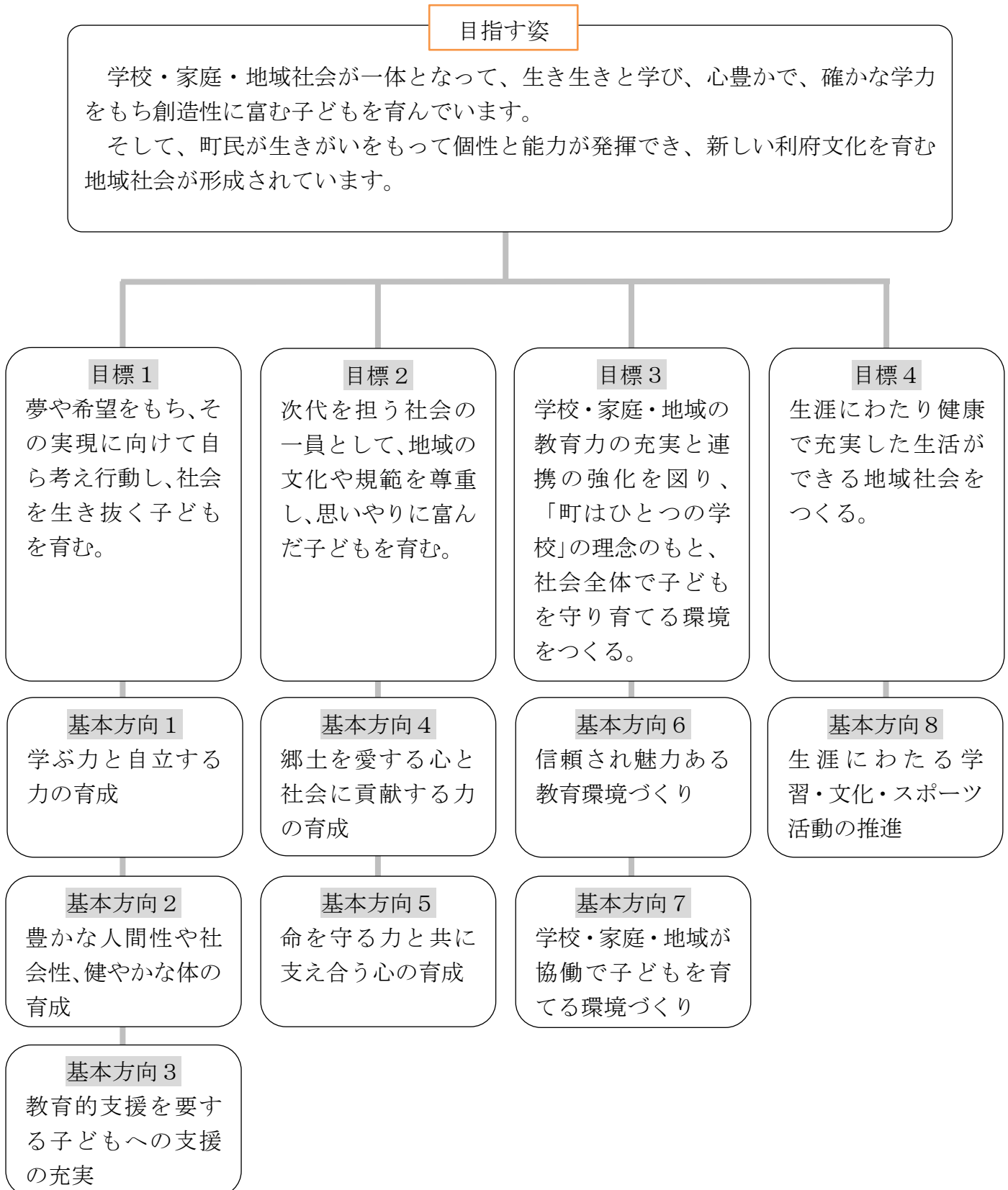
**目標2** 次代を担う社会の一員として、地域の文化や規範を尊重し、思いやりに富んだ子どもを育む。

**目標3** 学校・家庭・地域の教育力の充実と連携の強化を図り、「町はひとつの学校」の理念のもと、社会全体で子どもを守り育てる環境をつくる。

**目標4** 生涯にわたり健康で充実した生活ができる地域社会をつくる。

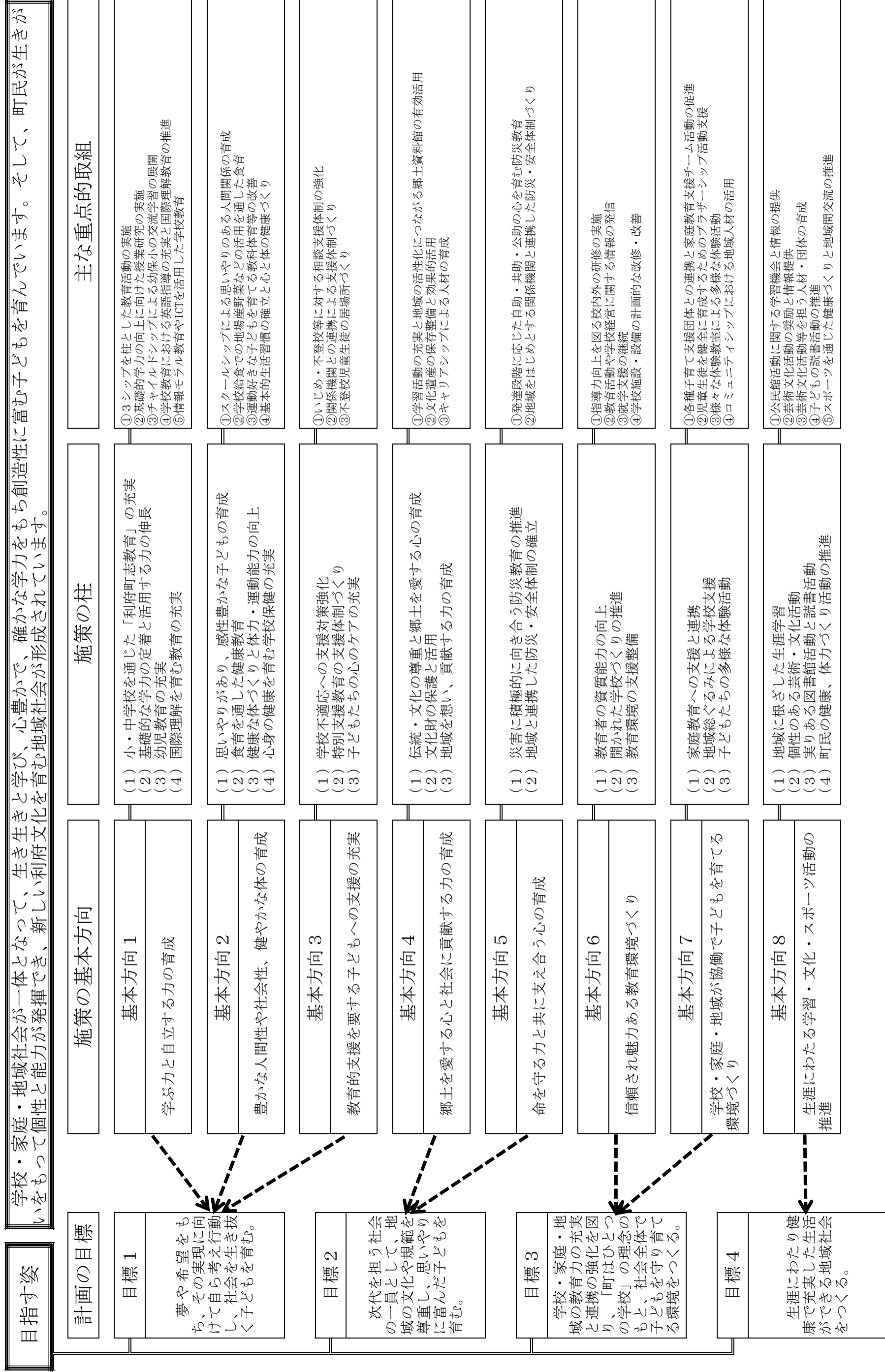
### 3 教育施策の基本方向

計画の理念として掲げた「目指す姿」と4つの「計画の目標」のもと、それらの実現に向けて実施する「施策の基本方向」を、8つに分けて取り組んでいきます。



## IV 施策の全体体系

利府町教育振興計画の理念として掲げた「目指す姿」と4つの「計画の目標」と4つの「計画の目標」と4つの「計画の目標」のもと、それらの実現に向けて実施する「施策の基本方向」を、8つに分けて取り組んでいきます。



## V 教育行政の点検・評価

開かれた教育行政の推進				
<p>教育行政の公正かつ適正な運営</p> <p>利府町教育基本方針に基づく事業の実施や、利府町教育振興基本計画の実現に向けて取り組む中で、教育行政の公正かつ適正な運営実施に努めます。</p> <p>このため、定期的に会議を開催し委員の意見を踏まえ、さらなる効果的な事業の展開を図っていきます。</p>				
実施事業及び内容	R2 実績	R3 実績	対比	評価
教育委員会の会議の開催	定例会 12回開催 臨時会 1回開催	定例会 12回開催 臨時会 1回開催	—	A
社会教育委員の会議の開催	2回開催	3回開催	+1回	A
教育委員会の事務事業の点検評価の実施	有識者会議 3回開催	有識者会議 3回開催	—	A
総合教育会議の開催	教育委員会 において 1回開催	町において 1回開催	—	A

## 評価の理由・各取組の成果の状況

### 【教育総務課（教育総務係）】

利府町教育委員会会議規則に基づき、会議の定例開催や現場視察を実施し、各種事業の執行状況を把握及び協議しながら教育行政の適正な運営に努めた。

さらに、前年度の各種事業については有識者による点検・評価の結果を基に、次年度の対応方針を検討し適切な事業の展開を図った。

また、議会へ報告書の提出及び関係機関への配布、ホームページへの掲載等を実施し、適切に公表を行った。

### 【生涯学習課（生涯学習・スポーツ振興係）】

生涯にわたり健康で充実した生活の実現に向け、社会教育委員の会議においてはこれまで行った事業に対する協議を行った。社会教育委員が実際に参加した生涯学習事業への意見や助言を各種事業に反映し、改善することにより、充実した社会教育の推進に努めた。

## 今後取組を推進する上での対応方針

### 【教育総務課（教育総務係）】

利府町教育振興基本計画に掲げた目標の達成に向け、掲げられた基本方向を踏まえながら、その具現化に向け教育行政を推進する。

各事業の計画的な実施や評価を行い、適切な公表を通して、開かれた教育行政のさらなる推進を図る。

### 【生涯学習課（生涯学習・スポーツ振興係）】

生涯学習事業の効果的な推進のため、社会教育委員の評価を取り入れながら事業を行う。また、指定管理者と連携を図りながら町民の教養や知識、スキル、思考力、価値観の形成にむけて社会教育のさらなる推進を図る。

## VI 事業の点検・評価

基本方向 1	学ぶ力と自立する力の育成				
<p>(1) 小・中学校を通じた「利府町志教育」の充実            児童生徒一人ひとりが学ぶ意欲と夢や希望を持ち、喜びや楽しさを実感し充実した学校生活を送り、主体的・対話的で深い学びや、教育活動を通じた「志教育」のさらなる推進を図ります。</p> <p>(2) 基礎的な学力の定着と活用する力の伸長            学年段階や児童生徒一人ひとりの学習状況に応じて、少人数授業やチーム・ティーチングなどの学習指導体制の工夫・改善を図り、学校・家庭・地域と連携した基本的な生活習慣や学習習慣の確立などに取組み、町全体で学習力向上を目指します。また、高度情報化社会に対応できるよう、発達段階に応じた情報活用能力を育成するとともに、情報モラル教育を推進します。</p> <p>(3) 幼児教育の充実            生活習慣の基礎・基本と学ぶ力の育成を図り、小学校への円滑な移行を目指します。このため、幼稚園・保育所・小学校の連携ネットワークをさらに深めるとともに、交流学习を継続して推進します。</p> <p>(4) 国際理解を育む教育の充実            グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は、非常に重要なものであり、各学校段階の学びを接続させ、小中学校を通じた英語教育の一層の充実・強化を図ります。</p>					
重点的取組	実施事業及び内容	R2 実績	R3 実績	対比	評価
3 シップを柱とした教育活動の実施	町は一つの学校の理念を基に学習活動の推進を図った。	志教育の取組状況 9校	志教育の取組状況 9校	—	A
基礎的な学力の向上に向けた授業研究の実施	町主催の授業研修の他、各学校の授業研修に担当者を派遣して授業力向上を図った。	町主催 授業研修 1回	町主催 授業研修 5回	+4回	A
チャイルドシップによる幼保小の交流学习の展開	幼・保年長児を学校に招き学校見学会を実施した。	中止	実施 2校	+2校	C
学校教育における英語指導の充実と国際理解教育の推進	ALT における生きた英語教育を実施した。また、英語教育の授業研究を実施した。	学校数 9校	学校数 9校	—	B
情報モラル教育や ICT を活用した学校教育	各教科や総合的な学習の時間に、タブレット等の ICT 機器を活用した学習を実施した。	学校数 9校	学校数 9校	—	A

## 評価の理由・各取組の成果の状況

### 【教育総務課】

本町教育の特色である「志教育」を推進するなかで、とりわけ3シップを柱とした事業を実施することで、児童生徒の学ぶ意欲や充実した学校生活及び主体的・対話的で深い学びの実現を目指している。

令和3年度における3シップの取組の内「キャリアシップ」は、中学生の職業体験の実施について検討を行ったが、コロナ禍により、受け入れ可能事業所が対象生徒の人数に満たない可能性が高かったため、令和3年度についても中止となった。小学校の農業体験については実施することが出来た。

### 【教育総務課（教育指導係）】

基礎的学力の向上に向けた授業研究や英語教育の授業研究については、前年度より回数を増やした形で計画していたが、年度途中で新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となったものもあった。

チャイルドシップによる幼保小の交流学習として毎年実施している幼稚園児・保育園児の学校見学会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく実施を見送る学校も多かったが、青山小学校、菅谷台小学校では児童との交流は行わなかったものの、園児を招き校舎見学を行った。また利府小学校では学校案内の動画を送付し、各園で視聴してもらうことで、入学への期待感をもたせるといった工夫を行った。

## 今後取組を推進する上での対応方針

### 【教育総務課】

利府町志教育は学校・家庭・地域・行政が一体となり、人と社会の関わりを通じて児童生徒の健やかな育成を目標としているが、直接会っての交流や対話が、コロナ禍において制限され、模索しながらの実施となっている。中学生の職業体験については、令和4年度はキャリアシップ推進委員会を開催し、事業所からのご理解ご協力をいただきながら、実施に向け準備を進めている。3シップ全体の流れや歩みを止めずに、創意工夫を図っていく。

### 【教育総務課（教育指導係）】

前年度に引き続き ICT を活用した授業や、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等の制限がある中での効果的な指導方法等について研修等を通じて研究し、指導力の向上を図る。

基本方向 2	豊かな人間性や社会性、健やかな体の育成				
<p>(1) 思いやりがあり、感性豊かな子どもの育成            自他の命を大切にし、生命を尊重し自然を愛する心、互いに尊重し合う心や思いやりの心、社会の一員としての規範意識を育てる教育を、様々な学校体験活動・スクールシップを通して豊かな人間性を形成し、個性、感性及び創造性を育みます。</p> <p>(2) 食育を通じた健康教育            学校給食と各教科との関連を図った指導の充実を図るとともに、地域での食に関する体験や交流を通して食文化や地産地消についての理解を深め、食育を通じた健康教育を推進します。</p> <p>(3) 健康な体づくりと体力・運動能力の向上            子どもたちがスポーツに親しみ、自ら体を動かそうという意欲を引き出すため、運動好きな子どもを育てる教育活動を推進するとともに、専門的指導力を有する地域人材の部活動等への活用などの取組みを進めていきます。</p> <p>(4) 心身の健康を育む学校保健の充実            児童生徒の健康の保持増進を図るとともに、学校の教育活動を通じて、子どもたちに自分の心と体に関心をもたせ、食事・睡眠・運動の大切さを理解させるため、保健教育の充実を図ります。</p>					
重点的取組	実施事業及び内容	R2 実績	R3 実績	対比	評価
スクールシップによる思いやりのある人間関係の育成	小学 6 年生と中学 1 年生の意識ギャップ解消のため、中学校の教員が中学校区ごとに小学 6 年生へ授業を実施した。	実施回数 2 回	実施回数 3 回	+1 回	B
学校給食での地場産野菜などの活用を通じた食育	学校給食における地場野菜などの使用量の割合 (%)	31.7%	29.1%	-2.6%	C
運動好きな子どもを育てる教科体育の改善	児童生徒の体力・運動能力調査を実施した。(参考：体力合計点の全国平均値との差)	—	全国平均値との差 小学5 年生 (男) +0.4 (女) △0.2  中学2 年生 (男) △3.4 (女) △4.9	—	C
基本的な生活習慣の確立と心と体の健康づくり	むし歯(う歯)なし児童生徒の増加	小学校 50.5% 中学校 63.2%	小学校 51.9% 中学校 62.1%	小学校 +1.9% 中学校 △1.1%	C



## 評価の理由・各取組の成果の状況

### 【教育総務課（教育指導係）】

スクールシップ事業における「中学校一日体験学習」として、しらかし台中学校の教師がしらかし台小学校及び青山小学校の6年生を対象に授業を行った。利府中学校においては中学校区内の小学校から中学校生活に対する質問にVTRにより返答する交流事業を行った。

令和3年度の体力・運動能力調査は、小学5年生及び中学2年生を対象に実施されたが、小学5年生男子以外は体力合計点の全国平均を下回る結果となった。

また、県が実施する「体力・地域スポーツ力向上推進事業」を引き続き活用し、菅谷台小学校において外部人材を活用した体育の授業や身体づくりを行った。

### 【学校給食センター】

地場産品の使用率については、JAとの連携や食材納入業者への働きかけなどに努めたが、天候不順や町内の生産業者が減少していることなども要因になり、令和2年度と比較して減少したが、町内産のわかめや梨ジャムなどを積極的に利用し、利府町独自の献立の工夫に努めた。

また、その他の取り組みとして、給食センター年間指導計画に基づき、毎月のテーマを掲げ、食育の日、みやぎ水産の日、地産地消の日を設定し、テーマに合わせた献立を通して、食文化や地産地消についての理解を深めることを目指した。

### 【教育総務課（学事係）】

各学校では、定期的に「保健だより」により食事・睡眠・運動の生活習慣の大切さを保護者へ周知した。コロナ感染予防対策としては、非接触型の消毒機材を購入し各校へ配布した。

児童生徒及び教職員へマスク着用による熱中症予防の注意喚起を行った。

## 今後取組を推進する上での対応方針

### 【教育総務課（教育指導係）】

今後も互いに尊重し合う心や思いやりの心、社会の一員としての規範意識を育てる教育を推進していくため、スクールシップ事業として中学校区ごとに組織を形成し、共通の課題やそれぞれの問題への対応を図っていく。

また、健康な体づくりと体力・運動能力の向上への取り組みとして、運動機会を増やすことで生涯にわたって運動に親しむ姿勢を育むことや専門的指導力を有する人材を活用し、高度な技術力に触れ、児童・生徒の運動能力に関する資質や能力の基礎を育てることで、スポーツに親しむ心の育成及び体力向上を図る。

### 【学校給食センター】

引き続き、JAとの連携や納入業者への働きかけに努め、地場産品の使用率の向上に努める。また、季節の行事食や各地の郷土料理の献立を取り入れることにより、食文化や食事のマナーについて学ぶ機会を増やし、食育を通じた健康教育を推進していく。

### 【教育総務課（学事係）】

コロナ感染症予防対策を日々実施している中で、児童生徒は新しい生活様式が定着している。今後も保健だよりによる周知と、夏季期間等、マスクを不着用の学校活動が増えてくることが予想されることから、感染予防に努めるもの。

基本方向 3	教育的支援を要する子どもへの支援の充実				
<p>(1) 学校不適應への支援対策強化  学校不適應児童生徒の学習意欲の向上や自立心・社会性を育てるため、家庭や医療、けやき教室等の関係機関と連携を図りながら、不登校児童生徒が学校復帰に向けて学習する居場所を整え、心のケアの支援・相談体制の充実を図ります。</p> <p>(2) 特別支援教育の支援体制づくり  発達障害を含め障害のある子どもの自立や社会参加に向けて、支援体制を構築するとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境の整備と相談体制を確立し、特別支援教育の充実を図ります。</p> <p>(3) 子どもたちの心のケアの充実  いじめ防止等に対する体制の強化、学校・家庭等で悩みを抱え心のケアを要する子どもたちへの支援の充実を図ります。また、震災等で被災した子どもたちに対して、学校全体で中長期的な心のケアを図ります。</p>					
重点的取組	実施事業及び内容	R2 実績	R3 実績	対比	評価
いじめ・不登校等に対する相談支援体制の強化	教育相談専門員、SSW（スクールソーシャルワーカー）、SC（スクールカウンセラー）等を配置することにより相談体制を確立した。	教育相談専門員 相談件数 375 件 SSW 相談件数 1,014 件	教育相談専門員 相談件数 337 件 SSW 相談件数 1,017 件	教育相談専門員 相談件数 △38 件 SSW 相談件数 +3 件	B
関係機関との連携による支援体制づくり	子どもの心のケアハウスとの連携を図った。	—	—	—	A
不登校児童生徒の居場所づくり	子どもの心のケアハウスの設置により不登校（傾向）の児童生徒が学校復帰に向けた居場所づくりが図られた。	通所人数 12 人	通所人数 12 人	—	B

### 評価の理由・各取組の成果の状況

#### 【教育総務課（教育指導係）】

いじめ・不登校等に対する相談支援体制の強化については、全教職員が協力し、組織で対応する体制の整備に努め、教育相談専門員やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心のケア支援員等複数の相談窓口を設け、それぞれが連携した相談体制により、早期の問題解決に繋がった。

不登校児童生徒の居場所づくりについては、スーパーバイザーを中心に子どもの心のケアハウスと学校間で情報共有を行うなどの連携を強化し、不登校（傾向）の児童生徒の学校復帰や社会的自立に向け支援した。

また、令和3年度は宮城県の不登校等児童生徒学び支援教室充実事業の実践校として利府第三小学校に学び支援教室を開設し、不登校傾向の児童の居場所をつくりながら、通常学級への復帰支援を行った。

### 今後取組を推進する上での対応方針

#### 【教育総務課（教育指導係）】

各種支援や相談体制の充実や、関係機関との連携を図り、児童生徒一人ひとりの状況に応じた対策や支援を目指す。また、現在構築している相談体制をより強化し、心のケアハウスと学校がさらに緊密な連携を図り、適切なタイミングで適切な支援を提供できる体制づくりに努める。

基本方向 4	郷土を愛する心と社会に貢献する力の育成				
<p>(1) 伝統・文化の尊重と郷土を愛する心の育成 郷土の歴史について理解を深め、郷土を大切に思う気持ちをもつことができるように、郷土の伝統・文化に触れる機会を地域とともに拡充します。</p> <p>(2) 文化財の保護と活用 地域の宝である文化財は、後世へ保存・継承すると共に展示の機会を増やし、開発にあたっては、埋蔵文化財（遺構・遺物）に留意して実施し、地域に残る貴重な文化財を、地域活性化のため効果的に活用するよう工夫していきます。</p> <p>(3) 地域を想い、貢献する力の育成 学校が地域や企業などと連携・協働しながら、キャリアシップを推進することにより、社会人として必要な能力や態度を育むとともに、児童生徒一人ひとりの地域への想いと地域に貢献する心を醸成し、地域に貢献する人材の育成を図ります。</p>					
重点的取組	実施事業及び内容	R2 実績	R3 実績	対比	評価
学習活動の充実と地域の活性化につながる郷土資料館の有効活用	社会科単元「変わるわたしたちの暮らし」に併せ、町内小学校と連携し、展示説明、体験作業を実施した。	来館者数 258人	0 ※郷土資料館休館	△258	E
文化遺産の保存整備と効果的活用	出土資料の再整理を実施した。 埋蔵文化財の説明板を設置した。 文化財のパンフレット「十符の里のさんぼみち」を刊行した。	整理済 出土資料 約 120 箱 埋蔵文化 財説明板 1 基 文化財 パンフレット 2,000 部	整理済 出土資料 約 110 箱 埋蔵文化 財説明板 1 基 文化財 パンフレット 2,000 部	△10 箱  -  -	A
キャリアシップによる人材の育成	小学生について、農業体験により地域の住民とのふれあいの中で地域への思いを醸成した。 中学生について、町内外事業所職場体験により社会人として必要な能力や態度等を学習した。	実施校  小学校 5 校 中学校 0 校	実施校  小学校 5 校 中学校 0 校	-	B

## 評価の理由・各取組の成果の状況

### 【生涯学習課（文化振興・リフノス係）】

令和3年度については郷土資料館が休館中であるが、郷土愛の涵養を今後も継続的に図るため、出前授業の利用促進を行い、火起こし体験や町の歴史についての出前授業を行った。

また、「見て・触れて・体験できる学習の場」を具現化するため、文化交流センター「リフノス」やイオン新利府南館を会場とした「勾玉づくり教室」などの各種体験教室を実施した。

古くから伝えられてきた民具や町内の遺跡から見つかった遺物等は、地域の歴史を知る上で貴重な資料であると考えます。このことから、役場教育委員会前フロアに郷土資料館展示ケースを1台設置し、企画展として人々の生活を振り返る史料を展示公開することにより、町の歴史に対する興味や関心を高めることができました。さらには、InstagramをはじめとしたSNSを運用し、町内外の人へ広く町の歴史・文化財への普及啓発を行った。

### 【教育総務課（教育指導係）】

キャリアシップ事業（中学生の職場体験）は、令和3年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施することができなかったが、勤労観・職業観を育成や地域社会への理解を深めることを目的に、学校において講師を招き、講話を行った。

また、小学生は農業体験として各学校において梨や米の栽培・収穫体験を実施し、地域の農家の方とのふれあいの中で、地域への想いや地域に貢献する心の醸成が図られた。

## 今後取組を推進する上での対応方針

### 【生涯学習課（文化振興・リフノス係）】

令和4年度については郷土資料館のリニューアルオープンに向けて担当課との協議を進める。

また、引き続き出前授業の利用促進や郷土ふれあい学習会を行うとともに、SNSを運用し、町の歴史・文化財の普及啓発に努め、郷土愛の醸成を図る。

### 【教育総務課（教育指導係）】

キャリアシップ事業について、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じた上での実施に向けた検討を行う。また、実施にあたっては、具体的なヒヤリハット事例や職場体験における安全管理チェックシートの作成など安全管理について配慮し、事業所、保護者、生徒が安全で安心して実施できる体制を維持する。

基本方向 5	命を守る力と共に支え合う心の育成				
<p>(1) 災害に積極的に向き合う防災教育の推進            周期的に発生する地震について正しい知識を備えるなど、自然災害に向き合いながら生き抜く力を身に付けさせるため、子どもたちの発達段階に応じ、系統的な防災教育を推進します。</p> <p>(2) 地域と連携した防災・安全体制の確立            いつ発生するかわからない災害に備え、学校を含めた地域の防災力及び減災力の向上と、災害時における安全教育を実施します。また、交通安全、生活安全（防犯を含む）の総合的な学校安全体制の確立を図り、地域社会の安全・安心の一層の充実を図ります。</p>					
重点的取組	実施事業及び内容	R2 実績	R3 実績	対比	評価
発達段階に応じた自助・共助・公助の心を育む防災教育の推進	学校では、通学路の安全点検を実施し、また、緊急時を想定した保護者への引渡し等の避難・防災訓練を実施した。	実施校 9校	実施校 9校	-	B
地域をはじめとする関係機関と連携した防災・安全体制づくり	利府町通学路交通安全プログラムに基づき、町と関係機関において、町内危険箇所の巡視・合同点検を実施した。	町内 14箇所	町内 12箇所	△2箇所	B

### 評価の理由・各取組の成果の状況

#### 【教育総務課（学校施設係）】

令和3年6月6日に菅谷台小学校を会場とし、6.12利府町総合防災訓練を実施したほか、各学校においても引き渡し等の避難・防災訓練を実施し、地域や家庭と連携した防災教育の推進を図った。

地域学校安全対策事業として、各中学校区へ地域学校安全指導員を配置し、登下校の安全確保を図った。

利府町通学路安全プログラムに基づく「町・PTA・警察等」で危険箇所の巡視を行う合同点検については、コロナ禍であったことから、規模を縮小し町と関係機関で実施した。

### 今後取組を推進する上での対応方針

#### 【教育総務課（学校施設係）】

通学路の危険箇所点検や災害時の学区内巡視を継続して実施し、関係機関との連携を図る。

また、災害時に起こりうる町内や学校の被害状況や学校・自宅周辺の災害箇所についての理解を促す学習、防災教育に係る取組について、一層の充実を図る。

基本方向 6	信頼され魅力ある教育環境づくり				
<p>(1) 教育者の資質能力の向上            教員の資質と指導力向上や学校の抱える課題に対応するため、各学校において校内研修の充実を図るとともに、スクールシップの連携強化を図ります。            また、教職経験に応じた体系的な研修の充実及び改善を図ります。</p> <p>(2) 開かれた学校づくりの推進            教育活動や学校運営の自律的改善を図るため、学校評価の充実に取り組むほか、学校評議員制度等を活用し、保護者や地域住民の意見を取り入れ開かれた学校づくりを進めます。</p> <p>(3) 教育環境の支援整備            児童生徒が質の高い教育環境のなかで意欲的に学び、健康で豊かな心を育み、いきいきと学校生活を送れるように、学校施設の計画的な改修・改善、並びに教材・教具の充実に取り組みます。            また、保護者の経済的な負担の軽減を図るため、就学支援を継続して実施し学習環境の充実に努めます。</p>					
重点的取組	実施事業及び内容	R2 実績	R3 実績	対比	評価
指導力向上を図る校内外の研修の実施	教職員研修会などの外部研修会の実施や、学校教育専門員等による指導・助言等を行った。	研修会数 10回	研修会数 11回	+1回	B
教育活動や学校経営に関する情報の発信	ホームページのコンテンツを豊かにする他、学校便りを毎月発行する等、広く教育活動や学校経営に関する情報を発信した。	実施校 9校	実施校 9校	—	A
就学支援の継続	新入学児童生徒を対象とした運動着の無料支給や経済的困難な世帯へ教育資金を援助する就学援助事業を実施した。	体操着支給 706人	体操着支給 726人	体操着支給 +20人	A
学校施設・設備の計画的な改修・改善	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、各小中学校における蛇口について、非接触型自動水洗へ改修した。	改修済 小中学校 0校	改修済 小中学校 9校	+9校	A



## 評価の理由・各取組の成果の状況

### 【教育総務課（教育指導係）】

指導力向上を図る校内外の研修については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止になったものもあったが、学校が抱える課題に対応するための研修（ICTを活用した授業等）等を実施することができた。

### 【教育総務課（学事係）】

各学校においてホームページの適切な管理を行うとともに、学校だよりを発行し、開かれた学校づくりの推進に努めた。

利府町独自の経済的な負担軽減策として、入学支援事業を継続して実施し、保護者の経済的な負担の軽減を図った。

### 【教育総務課（学校施設係）】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、各小中学校における蛇口について非接触型自動水栓へ改修し、児童生徒及び教職員等の感染予防を図った。

施設・設備の日常的な保守点検により、経年劣化等による不具合箇所の改修及び軽微な修繕を早期に実施し、学習環境の充実に努めた。

## 今後取組を推進する上での対応方針

### 【教育総務課（教育指導係）】

指導力向上を図る研修の充実とともに、より一層、児童生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細かい指導の在り方や保護者の声に丁寧に耳を傾け、教職員一人ひとりの資質向上が図られるよう努める。

### 【教育総務課（学事係）】

学校における教育活動や学校経営に関する情報の更なる発信を促すとともに、保護者の経済的負担の軽減を図るための支援を継続して実施する。

### 【教育総務課（学校施設係）】

引き続き各学校施設及び設備の点検確認を行い、不具合箇所の早期修繕及び計画的な改修工事を実施し、学校施設の保全及び環境改善を図る。

基本方向 7	学校・家庭・地域が協働で子どもを育てる環境づくり				
<p>(1) 家庭教育への支援と連携 親としての「学び」と「育ち」を支援する学習機会や子育て相談等の場の提供、地域や学校で家庭教育や子育てを支援する情報の提供や人材の育成を行うなど、関係機関や事業所等と連携しながら、地域全体で家庭教育と子育てを支える環境づくりを進めます。</p> <p>(2) 地域総ぐるみによる学校支援 地域ぐるみで子どもの安全を守る活動、並びに、ブラザーシップによる健全育成活動を推進します。 また、コミュニティシップにおける、学校・家庭・地域等とのきめ細かな連携をさらに推進し、子どもと学校を支え守る地域づくりを目指します。</p> <p>(3) 子どもたちの多様な体験活動 世代間交流活動や自然体験活動、社会体験活動など様々な体験を通じて、地域の環境や歴史・産業について学ぶとともに、地域の方と関わり合いながら、豊かな心、社会性、自ら考え行動する力等の育成を図ります。</p>					
重点的取組	実施事業及び内容	R2 実績	R3 実績	対比	評価
各種子育て支援団体との連携と家庭教育支援チーム活動の促進	子育ての課題や悩みの解消のため、課題別の家庭教育支援活動を実施した。	4 回開催 15 人受講	5 回開催 48 人受講	+1 回 +33 人	B
児童生徒を健全に育成するためのブラザーシップ活動支援	「住み続けられるふるさとづくり」のテーマのもと、SDGsに関連した取組を行った。また、「あいさつ運動」や「エコキャップ運動」に取り組んだ。	エコキャップ回収数 682,327 個	エコキャップ回収数 549,540 個	△132,787 個	B
様々な体験教室による多様な体験活動	利府町子ども会育成会連合会主催 「少年スポーツ大会」 「インリーダー研修会」	中止 中止	中止 中止	—	E
コミュニティシップにおける地域人材の活用	【Sun Pear Class】 第三小学校の児童を対象に、地域住民の参画を得て開催した。	17 回開催 登録者 11 人	8 回開催 登録者 23 人	△9 回 登録者 +12 人	A
	【りふ・わくわく広場】 地域住民との交流を通して安全・安心な居場所づくりを展開した。	6 回開催 登録者 36 人 参加者 143 人	5 回開催 登録者 36 人 参加者 135 人	△1 回 登録者 — 参加者 △8 人	B
	子育ての課題や悩みの解消のため、課題別の家庭教育支援活動を実施した。	4 回開催 15 人受講	5 回開催 48 人受講	+1 回 +33 人受講	B

## 評価の理由・各取組の成果の状況

### 【生涯学習課（生涯学習・スポーツ振興係）】

家庭教育学級では、学校での大規模な開催はできなかったが、講座等の開催により子育て時における保護者の悩みの解消や、家庭教育の重要性の理解に繋がった。

毎月1日と15日のあいさつ運動を通して地域住民が関わりを持ち、コミュニケーションの活性化を図った。また、子どもたちの見守りや地域の防犯活動の推進につながった。

放課後子ども教室「Sun Pear Class」では、地域の参画を得て自主学習や運動の支援、補助を行った。また、特別活動として利府町家庭教育支援チーム「とふ・十符」の皆さんを講師に、「はやね・はやおき・あさごはん」など望ましい生活習慣の啓発を行うとともに、地域の方々とグラウンドゴルフを行い、心豊かに過ごせる放課後の居場所を提供した。

土曜日の子どもの居場所づくり事業「りふ・わくわく広場」では、様々な体験活動を通して他の学校や異年齢の友達との交流を図った。また、地域の方々と子どもたちとの交流を通して安全で安心な居場所を提供した。

十符っ子ブラザーシップの活動では、「住み続けられるふるさとづくり」のテーマのもと、各校でSDGsに関連した取組を行った。また、コロナ禍においても各校代表児童生徒による「夢と志の発表」やテレビ会議システムを活用した「全体会」を行い、児童生徒の自主的な健全育成活動の推進を図った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった事業もあるが、感染予防対策を講じながら可能な限り実施し、学校・家庭・地域が協働で子どもを育てる環境づくりを推進した。

## 今後取組を推進する上での対応方針

### 【生涯学習課（生涯学習・スポーツ振興係）】

各事業の特色に応じた見直しを図りながら学校・家庭・地域・行政が連携し、子どもたちに豊かな心、社会性、自ら考え行動する力の育成を図っていく。

基本方向 8	生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進				
<p>(1) 地域に根ざした生涯学習 町民の多様なニーズに応じ、生涯にわたる学習の機会と場を充実し、その成果を地域に生かせるよう、生涯学習活動への参加促進と推進体制の充実を目指します。</p> <p>(2) 個性のある芸術・文化活動 芸術・文化活動を推進する指導者や団体の育成、支援に努め、創造性豊かな新しい利府の文化を生み出す環境づくりを推進します。</p> <p>(3) 実りある図書館活動と読書活動 図書館活動を充実させるため、本に親しむ機会を提供し、各種事業を継続的に改善します。また、多様な学習ニーズに対応できるよう、県立図書館や周辺市町村の図書施設との連携強化を図り、図書館サービスの充実に努めます。</p> <p>(4) 町民の健康、体力づくり活動の推進 各種スポーツ団体活動の支援をはじめ、社会体育施設、学校施設の有効活用などにより、町民だれもが年齢や体力に応じて、いつでもどこでもスポーツに親しみ、生涯にわたり健康で充実した生活を営むことができるよう、環境の整備を推進します。</p>					
重点的取組	実施事業及び内容	R2 実績	R3 実績	対比	評価
公民館活動に関する学習機会と情報の提供	<b>【公民館における各種活動】</b> 公民館・ふるさと創生間利用者 文化交流センター来館者 公民館教室 地区教養教室 職員による出前講座	参加者 14,091 人 - 426 人 106 人 90 人	参加者 - 144,663 人 598 人 105 人 126 人	- - +172 人 △1 人 +36 人	A
芸術文化活動の奨励と情報提供	<b>【各種文化芸術活動】</b> 河北美術展利府展 利府町文化祭 利府町スクールバンドフェスティバル 利府写真展 小さな音楽会 町民ギャラリー	参加者 中止 中止 中止 195 人 1,581 人	参加者 休止 2,146 人 中止 - -	- +2,146 人 - - -	A
芸術文化活動等を担う人材・団体の育成	自主的な活動促進のため、補助金を交付した。 (利府町芸術文化協会)	交付金額 98,000 円	交付金額 250,000 円	+152,000 円	A
	町民と協働の図書館振興のため、読み聞かせを行う図書館ボランティア養成講座を開催した。	参加人数 10 人	参加者数 24 人	+14 人	A

重点的取組	実施事業及び内容	R2 実績	R3 実績	対比	評価
子どもの読書活動の推進	図書館ボランティアと連携し、おはなし会で絵本の読み聞かせ等を実施した。	参加人数 53人	参加者数 1,327人	+1,274人	A
スポーツを通じた健康づくりと地域間交流の推進	【ふるさとスポーツ祭】 【スポーツ交流フェスティバル】	中止 中止	中止 中止	—	E

## 評価の理由・各取組の成果の状況

### 【生涯学習課（文化振興・リフノス係）】

令和3年7月に新たな生涯学習の拠点として文化交流センターが開館し、14万人を越える施設来館者があった。公民館教室をはじめとした各種事業にも多くの参加者があり、生涯学習活動及び芸術文化の振興を図ることができた。

昨年度同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった事業があったが、利府町文化祭が2年ぶり、初の文化交流センターでの開催となり、文化交流センターの活用を促し、地域に根差した芸術文化活動を推進することができた。

また、文化交流センター指定管理者により多目的ホールを会場とした子どもミュージカルなどの各種事業や、エントランスホールを利用したロビーコンサートなどが行われ、町民の多様な芸術文化活動の活性化につながるような魅力ある事業展開を図ることができた。

令和3年7月に新たに開館した図書館においては、蔵書数・利用者数・貸出冊数ともに増となり、特におはなし会参加者数は大幅増となった。朗読コンサートなどの参加型事業のみならず、ボランティア養成講座、一日図書館長など参画型の図書事業を展開し、町民の読書活動及び図書館活動の充実の推進を図った。

### 【生涯学習課（スポーツ振興係）】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ふるさとスポーツ祭及びスポーツ交流フェスティバルを中止とした。しかし、町民の体力・健康づくりの推進、スポーツを通じた交流に寄与するため、感染予防対策を講じながら可能な限り施設の貸し出しを実施し、生涯スポーツの推進を図った。

## 今後取組を推進する上での対応方針

### 【生涯学習課（文化振興・リフノス係）】

公民館教室をはじめとする学習機会の提供及び芸術文化活動の奨励については、文化交流センター指定管理者と連携し、各種事業の展開を図りながら、文化交流センターが多くの町民に親しまれるように努めていく。

また、町芸術文化協会と連携を図りながら、町民の多様な芸術文化活動の活性化につながるような地域の芸術文化活動を推進していく。

読書活動については、第4次子ども読書活動推進計画を策定し、関係各所と連携しながら子どもの読書活動の推進を図る。また、図書館指定管理者と連携し、引き続きおはなし会をはじめとした各種魅力ある事業を展開し、読書に親しむ環境づくりや図書館活動の充実を図っていく。

### 【生涯学習課（生涯学習・スポーツ振興係）】

指定管理者と連携しながら生涯にわたってスポーツに親しむ機会を設定し、町民の体力づくりと健康づくりの推進に努める。また、スポーツを通じて住民同士の交流を図り、地域の活性化に寄与する。

## VII 有識者意見書

はじめに、利府町教育振興基本計画の実現に向け、点検・評価を実施し、結果を踏まえ次年度以降の取組に活かしていることは評価できる。

### 1 各施策の点検評価

#### (1) 開かれた教育行政の推進

利府町教育基本方針に基づき、各種会議について定例的に開催され、外部評価等の意見や助言を反映、改善されている。また、各種事業についても執行状況を把握され、町広報紙やホームページ等により、適切に公表されている。今後も開かれた教育行政の推進に努められたい。

#### (2) 基本方向 1 学ぶ力と自立する力の育成

利府町の志教育として「町はひとつの学校」の理念のもとに、児童生徒の健全育成が推進されている。各シップ事業はコロナ禍で中止となった事業もあったが、テレビ会議等を活用し創意工夫を図りながら事業の実施に努めている。

また、学習へのICT機器の有効な活用や基礎的学力向上を図るため、各種研修会が実施され、時代状況に応じた対応に向け着実に前進していると評価できる。

#### (3) 基本方向 2 豊かな人間性や社会性、健やかな体の育成

スクールシップ事業について、中学校区毎VTRによる交流事業など創意工夫し実施されており、人間関係を築くことの大切さを学べるよう努めている。

学校給食センターでは、地場野菜の確保が困難な状況の中、献立の工夫や毎月のテーマを掲げるなど食文化や地産地消に努めていた。今後は、県産農作物の利用も検討されたい。

コロナ禍で家庭学習の機会が多くなった分、体力・運動能力の低下が懸念され、体力・運動能力調査によると一部を除き全国平均を下回っており、今後積極的な取り組みが必須である。外部指導者を活用する等、町全体の体力向上を期待する。

また、基本的習慣について、歯磨きの大切さの理解や習慣化について児童生徒・保護者に対し、様々なツールを活用し保健教育の充実に努められたい。

#### **(4) 基本方向3 教育的支援を要する子どもへの支援の充実**

前年度と比べ、相談件数や通所人数に大きな変化はみられないが、不登校児童生徒は増加傾向にあるため、今後も関係機関や専門職員との連携を密にし、児童生徒との信頼関係を築きながら、教育環境の充実を期待します。

また、新たに利府第三小学校に学び支援教室が開設されたことは、不登校傾向の児童の居場所となるもので、学級への復帰支援として期待されるものである。いじめや学校・家庭で悩みを抱える子どもたちへの支援として、子どもと保護者に寄り添った相談支援体制に努められたい。

#### **(5) 基本方向4 郷土を愛する心と社会に貢献する力の育成**

郷土の歴史についての理解・郷土愛の涵養のため、積極的に出前授業の利用促進を行っており、文化交流センター「リフノス」などを活用しながら興味を持てる各種体験教室を展開し、努力されている。学校教育との連携に可能な限り努め、郷土愛の一助につなげてほしい。

また、古くから伝えられてきた民具や町内の遺跡から発掘された遺物は地域の歴史を知るうえで貴重な資料である。郷土資料館の再開が待たれるが、その間、役場内に展示ケースを設置し、さらにSNSを活用するなど町内外への情報発信に取り組んでおり、創意工夫されている。

キャリアシップ事業については、職場体験等を通して社会との関わりや学ぶ意欲の向上に繋がるなど非常に有意義な事業であることから、今後も学校・地域・企業などと連携し、安全管理の配慮のもとに継続的に取り組まれたい。

#### **(6) 基本方向5 命を守る力と共に支え合う心の育成**

各学校において地域や家庭と連携しながら引き渡し訓練等を実施し、防災教育の推進に努めている。

また、地域学校対策事業においても地域学校安全指導員を配置するなど登下校の安全確保に努めている。

今後も児童生徒自らが命を守る意識づけや取り組みを継続して行っていただきたい。



## **(7) 基本方向6 信頼され魅力ある教育環境づくり**

教員の資質と指導力向上については、各研修会やICTを活用した授業など実施されており、今後も研修の充実に努められ、GIGAスクール構想に係る着実な取り組みを今後とも行っていただきたい。

コロナ禍においてホームページや学校だよりは学校にとっての情報発信、保護者にとっての情報収集の大きな手段となっている。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策とした各小中学校における非接触型自動水栓への改修については、迅速な対応で高く評価できる。

また、学校施設についても定期点検を行い計画的に整備されているが、今後も教育環境の改善に努められたい。

## **(8) 基本方向7 学校・家庭・地域が協働で子どもを育てる環境づくり**

毎月1日と15日のあいさつ運動は地域住民とのコミュニケーションが図られ、児童生徒の健全育成に繋がっている。

ブラザーシップ活動においては各校で「住み続けられるふるさとづくり」をテーマとしたSDGSに関連した取組や各校代表児童生徒による「夢と志の発表」など創意工夫され取り組まれた。

利府町の「志教育」において、各シップ事業は町独自の取組であり町民全体に定着している。今後も児童生徒の健全育成に向け、活動の継続を期待する。

## **(9) 基本方向8 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進**

文化交流センターが開館し、目標を超える来館者があり公民館教室をはじめとした各種事業にも多くの参加者で活気を感じる。施設内の新たな図書館においても、おはなし会の参加者の大幅増や、朗読コンサートなど参加型の図書事業を展開し、子どもから大人まで親しまれる施設となっている。

また、2年ぶりの利府町文化祭の開催や子どもミュージカル・ロビーコンサートなど多様な魅力ある事業を展開し町民の期待に応えていた。今後も町民の芸術文化に触れる機会を提供し、さらなる芸術文化の推進に努められたい。

さらに、公民館教室は住民のニーズに対応した企画がなされており今後とも住民目線の活動を望む。

コロナ禍の影響で中止となっているスポーツイベントについても、感染防止に努めながらの開催を期待する。

## 2 総括

総じて、利府町教育振興基本計画における基本方向の各施策の目的に沿った事業展開が図られ、概ね成果を上げていると評価できる。コロナ禍にあり様々な工夫が求められるところであるが、今後とも、より一層きめ細かな地域・学校の実態把握に努め、施策に反映されるよう強く望むものである。

令和4年8月5日

有識者 鎌田 均

---

有識者 酒井 隆志

---

有識者 伊藤 啓子

---



利府町教育委員会事務事業  
点検・評価報告書（令和3年度事業）

令和4年8月発行

編集・発行 利府町教育委員会